

大阪府都市基盤施設維持管理技術審議会 第1回道路・橋梁等部会 議事要旨

日 時：令和6年3月15日（金曜日）午後2時から午後4時

場 所：大阪府庁本館5階 正庁の間

出席者：貝戸委員、鎌田委員（部会長）、山口委員 計3名

議事次第：1. あいさつ 2. 第1回審議会の概要

3. 各施設の振返りと検証、課題認識・論点

①道路・橋梁等 長寿命化計画 ②モノレール 長寿命化計画

③公園 長寿命化計画 ④街路樹 長寿命化計画

1. 部会の成立

3名のうち3名の出席となり、大阪府都市基盤施設維持管理技術審議会運営要綱第9条2項を満足しているため、本部会は成立。

所 属	役 職	氏 名	備 考
大阪大学 工学研究科 地球総合工学専攻	准教授	貝戸 清之	
大阪大学 工学研究科 地球総合工学専攻	教授	鎌田 敏郎	
大阪公立大学大学院 工学研究科 都市系専攻	教授	山口 隆司	

(五十音順、敬称略)

2. 主な内容

(1) 諮問及び委員意見

①道路・橋梁等 長寿命化計画

・計画の見直しに当たって、各施設を横並びで比較する、又は施設毎に個別に対応する、いずれの方法が良いと考えているか。(山口委員)

→現計画では施設毎に計画を考えていたが、次期計画では横断的に視野を広げて計画を作成したいと考えている。(事務局)

・計画は道路・橋梁等部会の中のみで戦略を検討していくか、又は分野種別を超えて他のインフラも含めて検討していく予定であるか。(貝戸委員)

→まずは道路・橋梁等部会の中で検討し、必要に応じて分野種別を超えて検討する。(事務局)

・AI は点検の際にひびわれ等の損傷を検知するために活用するのか、又は判定のために活用するのか。(貝戸委員)

→AI の活用目的は第一に効率化である。損傷情報を明確化するために活用することが効率化につながると考える。(事務局)

・橋梁は予測計画であるが、トンネルは状態監視であるのはなぜか。(貝戸委員)
→トンネルは劣化予測が難しいことから、現計画では状態監視となっている。(事務局)

・補修履歴の蓄積が進んでいないというのは、補修履歴のデータが探しても無いのか、又は維持管理を担う部署以外に蓄積されていないのか。(貝戸委員)
→補修履歴のデータはあるが、データベース内に詳細な補修内容が記載されていないケースがある。(事務局)

・統一的なデータベースを是非検討してほしい。(貝戸委員)
→現計画では維持管理データベースへ登録することとしているが、措置の記録が限定的となっている。(事務局)

・点検結果の状況について、健全性の状況の分析(Ⅱ判定の中でどのような損傷が多いか等)をもう少し掘り下げ、まとめ方や表現を工夫することで、より劣化の実態が明確になるのではないか。(山口委員)

②モノレール 長寿命化計画

・2018年の大阪府北部地震で駅舎などで損傷等が生じているのか、それも考慮して検討を進めるのか。(鎌田委員)

→地震による損傷状況を確認し検討したい。(事務局)

・不可視部分の点検の評価について、問題が生じていないということで良いか。(山口委員)

→一部で配線が支障となり、見にくい箇所があった。(事務局)

・健全度の推移について、桁と柱で劣化予測が異なるが、構造上の違いで損傷形態が違うため、劣化予測に違いが出ているのか。(山口委員)

→劣化予測は点検の結果から回帰曲線により算出し、構造物ごとの傾向を確認したところ。構造などによる分析はできていないため、結果を踏まえ確認していく。(事務局)

・新技術の導入の方向性については、技術が導入できるような仕組みを検討するのか、導入できる技術を検討するのか。(山口委員)

→導入が可能な技術について検討したい。(事務局)

・長期コストシミュレーションの算出時には、これまでの実績も整理できると良い。(貝戸委員)

③公園 長寿命化計画

・今回の検討対象範囲にはベンチや照明等も含まれているのか。(鎌田委員)

→公園には色々な施設があるが、当部会で検討していただきたいのは、公園の代表的な施設である遊具を想定している。(事務局)

- ・課題の中で指定管理者制度の導入により府職員の実務機会が減少していることについて言及しているが、指定管理者の技術レベルはどのように確認しているのか。指定管理者の技術水準の確保について府も関わっていったほうが良い。(山口委員)

→指定管理者の公募にあたっては、資格要件を設け、一定の技術水準を確保するとともに、定期的に府職員による現場を踏まえた履行確認を実施している。(事務局)

- ・遊具の更新フローが実際の更新のタイミングが合っていないところについては、実態に合うように変更すれば良い。フローに関わらずに更新するケースもあるため、劣化予測という点においては、点検データはあまり活用出来ないかもしれない(貝戸委員)

- ・次回の部会では公園分野の知見を持つ専門家に参加いただき、意見を聞きながら進行できればと考える。人選については事務局と相談の上、決定する。(鎌田委員)

④街路樹 長寿命化計画

- ・公園分野と同様に、次回の部会では街路樹の知見を持つ専門家に参加いただき、意見を聞きながら進行できればと考える。人選については事務局と相談の上、決定する。(鎌田委員)

(3) 今後のスケジュール

令和6年度

4月下旬 全体の取組方針のとりまとめ・策定(全体検討部会)

6月中旬 方針に基づく具体の取組内容の検討(各部会)

7月上旬 方針に基づく具体の取組内容の検討(全体検討部会)

7月下旬 中間とりまとめ(審議会)

10月下旬 各分野の最終とりまとめ(各部会)

11月下旬 最終とりまとめ(全体検討部会)

1月中旬 答申(審議会)